



## 海で泳いだよ

### 芦北の海で野外活動

菊陽町人権教育推進協議会「帰国・外国人教育推進部会」は7月31日～8月1日、あしきた青少年の家で野外活動を行いました。これは菊陽町の小中学校に通っている帰国子女・外国にルーツを持つ子どもたちが大自然の中で生活を共にすることで、さらに交流を図り親睦を深めることが目的の活動です。夕ご飯は自分たちで飯ごうを使ってご飯を炊き、カレーを作って食べました。子どもたちは「いろいろな人と知り合い仲間になれてよかった」と話していました。



▲カニを見つけたよ

## 感謝の気持ちを力に

### 第42回日本選手権硬式野球大会出場

熊本大津リトルシニア(池尻康晴監督、二殿史郎コーチ)が九州予選を勝ち抜き、日本リトルシニア硬式野球・日本選手権大会に8月2日～6日、出場しました。菊陽中学校3年・主将の杉本龍亮さん、南光陽さん、岩田航大さん、武蔵ヶ丘中学校2年・小崎勇志さんが中心選手として活躍。選手たちは善戦しましたが惜敗しました。選手たちは悔しさと関係者への感謝の気持ちを力に変えて3年生最後の大会ソフトバンクホークスカップに出場し、準優勝の成績を収めました。



▲(左から)二殿コーチ、小崎勇志さん、岩田航大さん、杉本龍亮さん、南光陽さん

## 魅力あふれる童話の世界

### 平成26年度菊陽町童話発表大会

菊陽町童話発表大会が7月23日、図書館ホールで開催されました。

この大会には、町内の小学校から11人の児童が出場。お気に入りの童話や民話などを表情豊かに発表しました。本や原稿を持たず、語りかけるように発表する児童の姿に観客は真剣に聴き入っていました。

今大会では、菊陽中部小学校3年の清水陽生さん、武蔵ヶ丘北小学校6年の鮫島史さんが最優秀賞を受賞し、菊池郡市大会の菊陽町代表に選ばれました。



▲最優秀賞を受賞した清水陽生さん(左)と鮫島史さん(右)

## 緑道が美しくなりました

### 測友会のメンバーがボランティアで清掃活動

菊池郡市の測量業者有志でつくる測友会(城秀蔵会長の)会員12人が7月12日、光の森地内の「まなびの道」で清掃活動を行いました。

測友会は測量・設計技術の向上に努め、地域住民の住みよい暮らしづくりのため、ボランティア活動が続けていて、今年で6回目を迎えました。

炎天下の中、約3時間の作業後には2トントラック1台分の草木やゴミが集められ、緑道が見違えるように美しくなりました。



▲緑道をきれいに清掃する測友会の皆さん

## 健診結果を見て終わりでは“もったいない”

### ヘルスアップセミナー

健康・保険課は8月1日、中央公民館でヘルスアップセミナーを行いました。このセミナーは、町の特定健康診査を受診した結果、血圧や中性脂肪、血糖値などが高めの人を対象に生活習慣病を早期に予防することを目的に開催しています。保健師や栄養士による講話や調理実習、理学療法士による運動指導を通し、生活習慣病に関する知識や生活習慣病予防に効果的な食事や運動のこつを知ることができます。参加者は楽しみながらも熱心に取り組んでいました。



▲リズムに合わせて体を動かす受講者の皆さん

## 人形劇で遊んだよ

### 夏休み図書館ワークショップ

夏休み図書館ワークショップ「人形劇で遊ぼう」が7月25日、菊陽町図書館で開催されました。講師は、菊陽町図書館ボランティア・人形劇「ぶっくる」の皆さん。参加した親子は紙に人物や動物などを描いて棒を付けたものを使う「ペープサート」の制作から体験しました。最後は自分たちが制作したペープサートを使い、人形劇の舞台で曲に合わせて人形劇を体験しました。「ぶっくる」の指導の中で練習を重ねた親子は、実際の舞台での体験にとっても満足そうでした。



▲ペープサートを作る参加者の親子

## 親睦と融和の輪が広がる

### 第11回東部町民センター室内ペタンク大会

第11回東部町民センター室内ペタンク大会が7月24日、東部町民センターで開催されました。

親睦を図り友情・信頼・連帯の心を培うことで差別のない明るい地域社会の実現を目的とした今大会には東部町民センター管内9行政区105人が参加。大会前は介護保険課による「認知症サポーター養成講座」が行われ、認知症に対する正しい知識と地域で見守ることの大切さを学んでいました。

大会の競技ルールは、誰でも簡単に楽しめる特別ルールで行われました。試合は10チームが2コートに分かれて予選を戦い、各コート2チームが決勝戦に進み、優勝は津留チーム、準優勝は戸次チーム、3位は出分チームでした。狙いを定めて投げたボールが思うように転ばない度に笑い声や歓声が沸いて会場は盛り上がり、親睦と融和の輪が広がりました。

東部町民センターは毎週火曜日の午後1時30分～午後3時に室内ペタンクを開催。いつも笑いあふれる時間が流れていて、誰でも自由に参加することができます。



▲認知症サポーター養成講座を受ける皆さん



▲室内ペタンクを楽しみました



## 菊陽にんじんの知名度向上を目指す

### 「キャロッピー」のピンバッジ完成

菊陽町マスコットキャラクター「キャロッピー」のピンバッジのお披露目式が8月14日、菊陽町役場で行われました。

本町は国指定のにんじんの産地で、「キャロッピー」はにんじんをモデルにしたマスコットキャラクター。このピンバッジはにんじんの産地としての菊陽町の知名度を向上させることを目的に、町が作成したものです。1個300円で9月から農政課で購入できます。農政課☎(232)4916。



▲「キャロッピー」のピンバッジを付ける後藤町長

## 環境への取り組みを学ぶ

### 武蔵ヶ丘小学校「環境学習とICレコーダー作り」

ソニーセミコンダクタ(株)熊本テクノロジーセンター主催の環境見学会が8月7日、同社で行われました。武蔵ヶ丘小学校4～6年生45人が参加。会社概要と環境への取り組みを学び、工場見学の後、ICレコーダーを作りました。工場で作られた半導体製品はデジタルカメラやスマートフォンなどに使われると説明があり、4Kシアター体験では美しい映像を楽しみました。児童はICレコーダーを組み立て、自分の声が録音・再生できた時は歓声をあげて喜んでいました。



▲ICレコーダーを作る児童たち

## 力を合わせてなかまづくり

### 太陽山びこ学習会でキャンプと夏祭り

人を大切にし、「なかま」としてつながり合うことや部落差別をはじめ全ての差別をなくす実践力を身に付けることを学んでいる「太陽山びこ学習会」の子どもたちが7月26日・27日、矢谷溪谷(山鹿市)でキャンプを行いました。菊陽北小学校や菊陽中学校のたくさんの小中学生が参加し、水遊びや火起こし体験などを楽しみました。27日は、菊陽町の馬場教育集会所で「学習会夏祭り」を行い、地域の大人や子どもたちも加わって輪投げやヨーヨー釣りを楽しみました。



▲自然の中で伸び伸び楽しみました



▲魚が泳いでいるよ



▲火起こし体験をする子どもたち